

九州産業大学

I R 活動報告書 2024

目次

01 発刊に際して	P2
02 九州産業大学における IR 体制の整備及び活動について (2021～2024) . .	P3
03 学生調査	P5
・新入生アンケート	
・成長の証アンケート	
・卒業予定者アンケート	
04 ファクトブックについて	P24
05 総括・今後の展望について	P26
06 参考	P27
・大学改革推進本部規程	

01 | 発刊に際して

本学は創立以来、「産学一如」の理念の下、地域社会への貢献と、学生一人ひとりの潜在能力を引き出す教育に取り組んで参りました。今後、新しい時代のニーズに応え、持続的な成長を目指し、教育、研究の質を向上させるためには、データ収集・分析を通じて、戦略的な大学運営や意思決定を支援するインスティテューショナル・リサーチ（IR）活動が重要となっています。

そこで、本学では 2021 年 8 月に、教育改革を推進し、学園の経営基盤を強化するため、データに基づく意思決定を支援する IR 推進室を設置しました。また、2024 年度には、大学評価室と IR 推進室を統合し、新たに教育企画推進室を設けました。これにより、質の保証体制を強化し、計画と改善の能力を一層高めています。さらに教育プログラムオフィサーの導入により、学部・学科が IR 活動に積極的に関与し、大学全体での取り組みを推進しています。

本報告書では、その成果と将来の方向性をまとめ、私たちの歩むべき道を示しています。創立 100 周年に向け、本学はデータに基づく教育の質の保証と、中期計画で定めた目標達成に向けて、さらなる努力を続けてまいります。本報告書が、IR 活動の進捗と成果を理解するための一助となり、皆様からの貴重なフィードバックと支援を得るきっかけになればと願っております。

今後も、本学の教育、研究、社会貢献へのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

副学長・大学改革推進本部副本部長
千 相哲

02 | 九州産業大学における IR 体制の整備及び活動について（2021 年～）

2021 年 8 月に設置した IR 推進室を皮切りに、現在に至るまでの九州産業大学における IR 体制の整備と活動の進捗状況を時系列でまとめています。

2021 年

8 月	大学改革推進本部に「IR 推進室」を設置
10 月	第 1 回 IR 会議 ・ アセスメント・ポリシーとコンピテンシー評価について ・ 学修成果の把握方法等について
12 月	「コロナ禍における学びに関する調査」実施

2022 年

1 月	「九産大生コンピテンシー」を設定（FD 委員会） 教員情報データマネジメントシステム（DMS）運用開始
2 月	「卒業予定者アンケート」実施
3 月	「在学生アンケート」実施
4 月	「新入生アンケート」実施 「KSU ペディアー文芸芸融合の学び—（電子版）」公開
5 月	第 1 回 IR 会議 ・ アセスメントに関する取り組みについて ・ ナンバリング・ルーブリックについて ・ 用語集について
7 月	第 2 回 IR 会議 ・ 新入生、在学生、卒業予定者アンケートについて ・ 第 1 回 KSU ペディアクイズ選手権の開催について ・ ルーブリック作成マニュアルについて
11 月	第 3 回 IR 会議 ・ 授業への参加形態が成績に及ぼす影響に関する検証結果について 「第 1 回 KSU ペディアクイズ選手権」の実施 シラバスへコンピテンシー・ルーブリックの項目追加

2023 年

2 月	「卒業予定者アンケート」実施
3 月	「在学生アンケート」実施
4 月	ナンバリング運用開始 「新入生アンケート」実施
7 月	第 1 回 IR 会議 ・ 卒業に関する分析結果について ・ 学生アンケートの分析結果に関する意見交換 ・ 学修ポートフォリオについて
9 月	CL ノートの運用開始
11 月	「第 2 回 KSU ペディアクイズ選手権」の実施

2024 年

2 月	「企業アンケート」実施
4 月	大学改革推進本部に「教育企画推進室」、「大学評価・IR 室」を設置（大学評価室と IR 推進室を統合）※
5 月	第 1 回 IR 会議 ・ ファクトブックの公開について ・ 学生アンケートの見直しについて 「ファクトブック」大学ホームページ公開
10 月	第 2 回 IR 会議 ・ 前学期「授業アンケート(FD)」結果報告について ・ 成長の証（在学生）アンケートの実施について
11 月	「成長の証（在学生）アンケート」実施

※2024 年 4 月の組織再編に伴い、業務分担の見直しを行い、アセスメント及び FD 関連の業務については、現在、教育企画推進室で実施している。

2025 年

2 月	「卒業予定者アンケート」実施 「企業アンケート」実施
-----	-------------------------------

03 | 学生調査

本学では、学生の学びの実態を把握し、教育改善に活用するため、以下の学生調査を実施しています。

名称	対象	目的
新入生アンケート	新入生	入学動機、大学生活で取り組みたいことなどの把握
成長の証（在学生）アンケート	全学年全員	大学生活全般の取り組みと現時点で身についた能力の把握
卒業予定者アンケート	4 年次	大学生活で身についた能力や本学への満足度の把握

それぞれの集計結果については、次ページ以降に掲載します。

2024年度 新入生アンケート結果（大学）

【調査の概要】

入学動機、大学生活で取り組みたいことなどを調査

- 1.実施時期：2024（令和6）年4月1日～4月8日
- 2.対象学年：2024年4月入学者
- 3.実施方法：Web
- 4.対象者数：大学2,626人
- 5.回答者数：大学2,620人（回答率：99.8%）

新入生アンケート集計結果

問1.第一志望大学

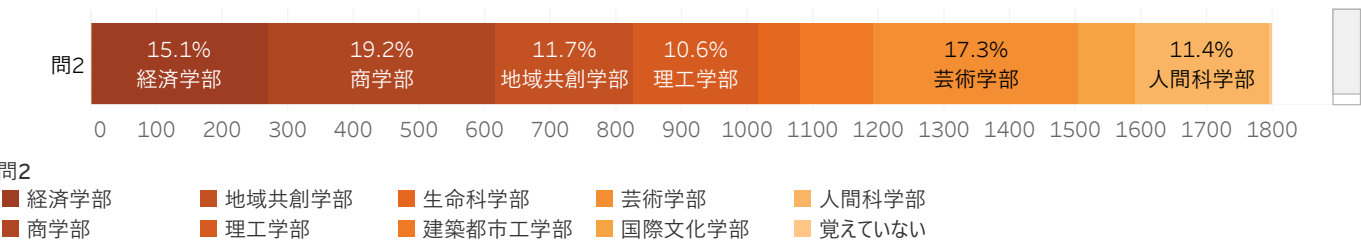
受験時の第一志望大学はどこでしたか。その他を選択した方は「〇〇大学」と記入してください。



●「九州産業大学（68.7%）」、「福岡大学（11.6%）」の順に割合が高い。

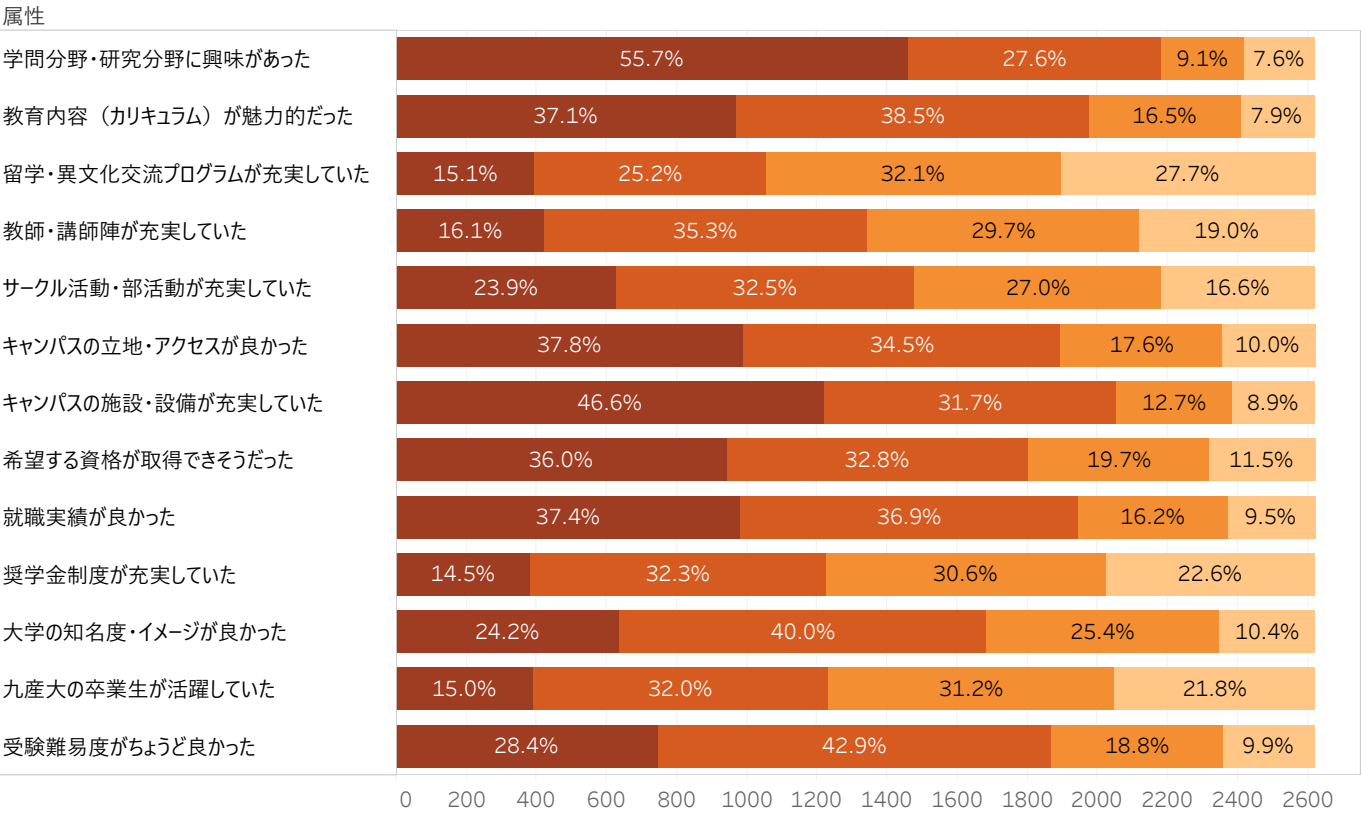
問2.第一志望学部

第一志望学部はどこでしたか。



問3.大学選びで重視した点

志望大学を比較検討する際、次のようなことをどのくらい重視しましたか。

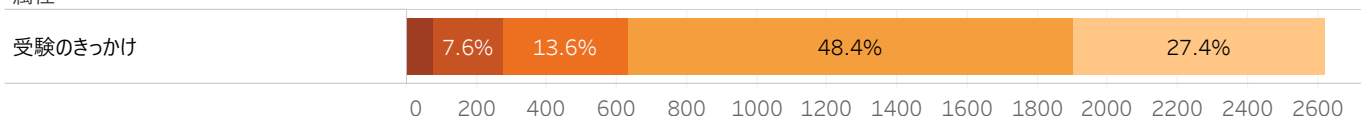


●「学問分野・研究分野」を「特に重視した」割合は55.7%と最も高い。

問4.受験のきっかけ

本学を受験したきっかけは何でしたか。

属性



問4

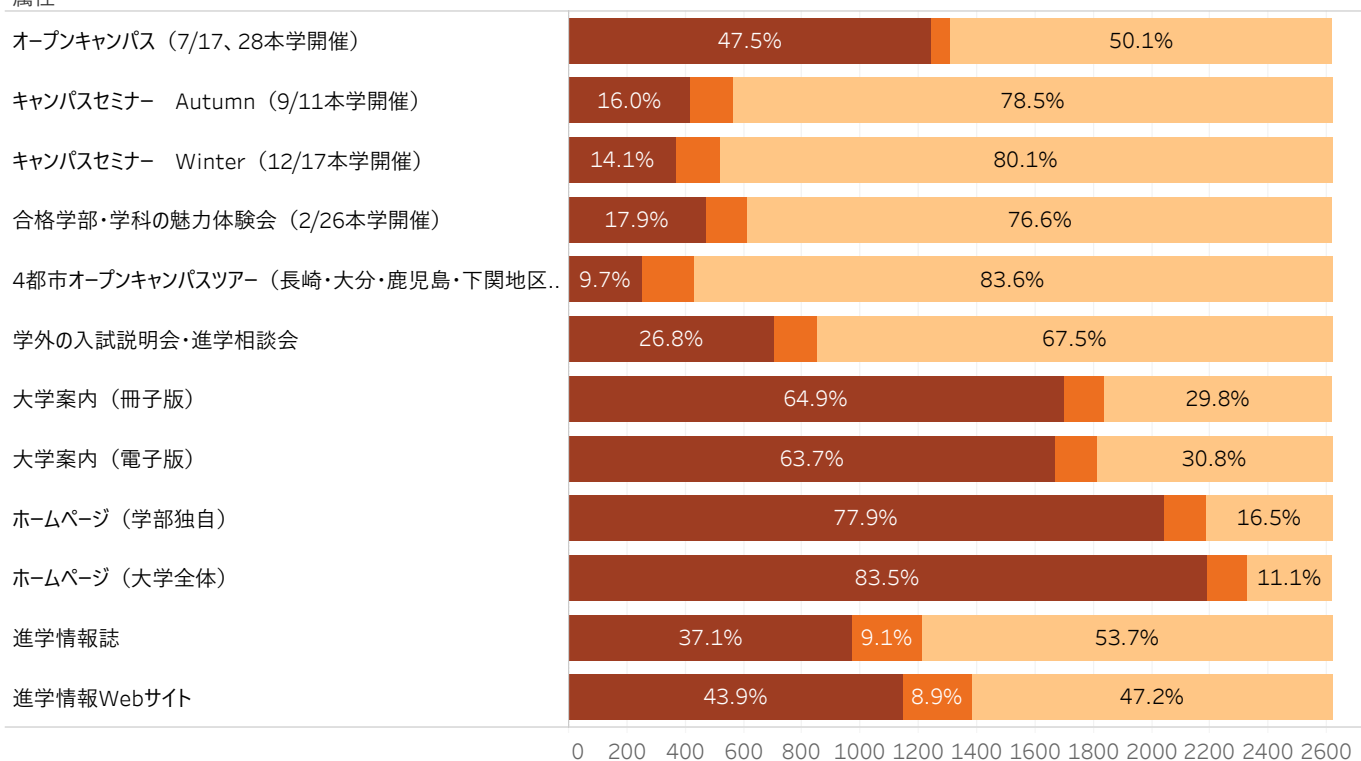
■ 予備校・塾の先生の助言 ■ 親・家族の助言 ■ 高校の先生の助言
■ 先輩・友人の助言 ■ 自分で調べた

●「自分で調べた（48.4%）」、「高校の先生の助言（27.4%）」の順に割合が高い。

問5.参考にしたもの

本学進学に際し、以下の本学主催のイベントおよび媒体は参考にしましたか。

属性



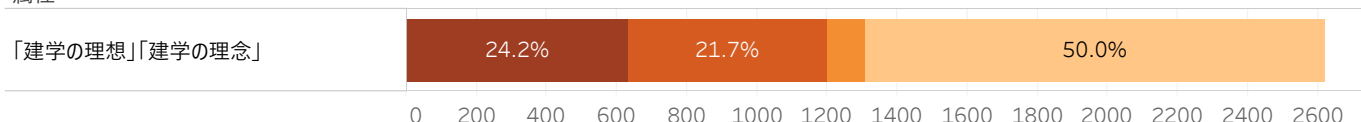
問5 ■ 参考になった ■ 参考にならなかった ■ 見て（来て）いない

●「ホームページ大学全体（83.5%）」、「ホームページ学部独自（77.9%）」、「大学案内冊子版（64.9%）」、「大学案内電子版（63.7%）」の順に「参考になった」割合が高い。

問6.「建学の理想」「建学の理念」

本学の「建学の理想」（産学一如）と、「建学の理念」（市民的自覚と中道精神の振興、実践的な学風の確立）を知っていましたか。

属性



問5

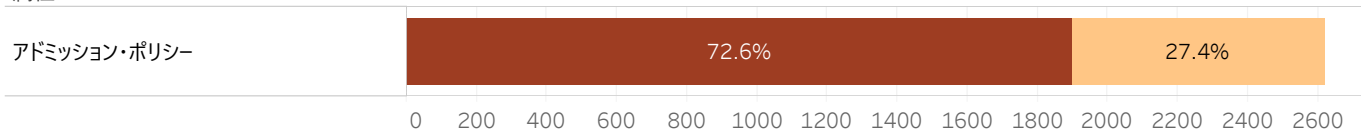
■ 両方とも知っていた ■ 「建学の理想」は知っていた ■ 「建学の理念」は知っていた ■ 両方とも知らなかった

●「建学の理想」「建学の理念」を両方もしくはどちらかを知っていた割合は50%であった。

問7.アドミッション・ポリシー

所属学部・学科のアドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）を知っていますか。

属性



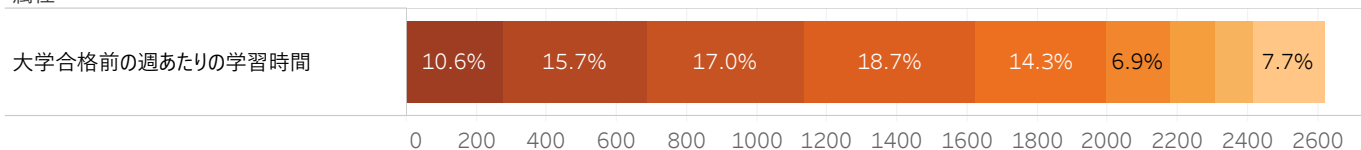
問7 ■ アドミッション・ポリシーを知っている ■ アドミッション・ポリシーを知らない

●「アドミッションポリシーを知っている」割合は72.6%である。

問8.大学合格前の週あたりの学習時間

あなたは大学合格前に、学校の授業時間以外の勉強（授業の予習・復習、受験勉強、通塾、資格試験対策、教養のための読書時間など）を1週間当たりどれくらい行っていましたか。

属性



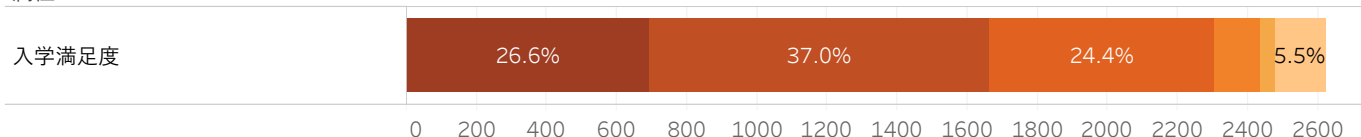
問8 ■ ほぼ行っていない（30分未満） ■ 3時間以上5時間未満 ■ 15時間以上20時間未満
 ■ 30分以上1時間30分未満 ■ 5時間以上10時間未満 ■ 20時間以上25時間未満
 ■ 1時間30分以上2時間30分未満 ■ 10時間以上15時間未満 ■ 25時間以上

●大学合格前の週あたりの学習時間は、「5時間未満」が62%（内「2時間半未満」が43.3%）である。

問9.入学満足度

本学に入学できたことについて、満足されていますか。

属性



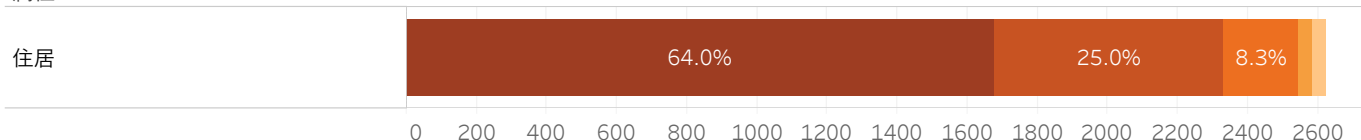
問9 ■ とても満足 ■ 満足 ■ まあ満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ とても不満

●入学に「とても満足」、「満足」、「まあ満足」の割合は88%である。

問10.住居

現在の住居について教えてください。

属性



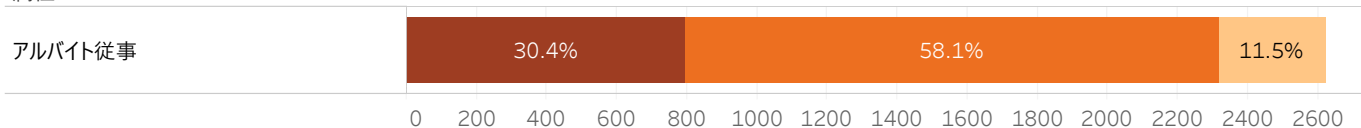
問10 ■ 実家（家族と同居） ■ 立花寮 ■ その他
 ■ 一人暮らし（アパート等） ■ 合宿所（部活の寮）

「実家（64%）」、「一人暮らし（25%）」、「立花寮（8.3%）」の順に割合が高い。

問11.アルバイト従事

アルバイトについて教えてください。

属性



問11

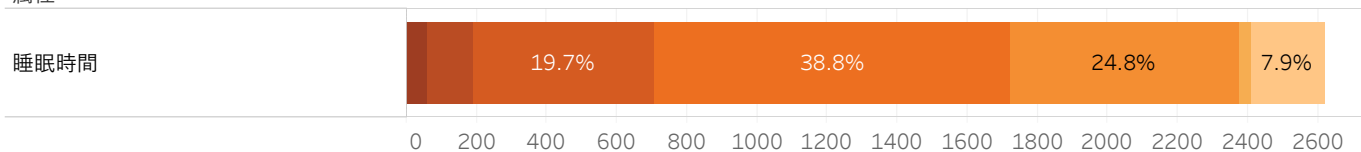
■ 既にしている ■ する予定である ■ していない

●アルバイトは、「する予定である（58.1%）」、「既にしている（30.4%）」の順に割合が高い。

問12.睡眠時間

あなたの直近 1 か月の夜の平均睡眠時間はどのくらいですか。

属性



問12

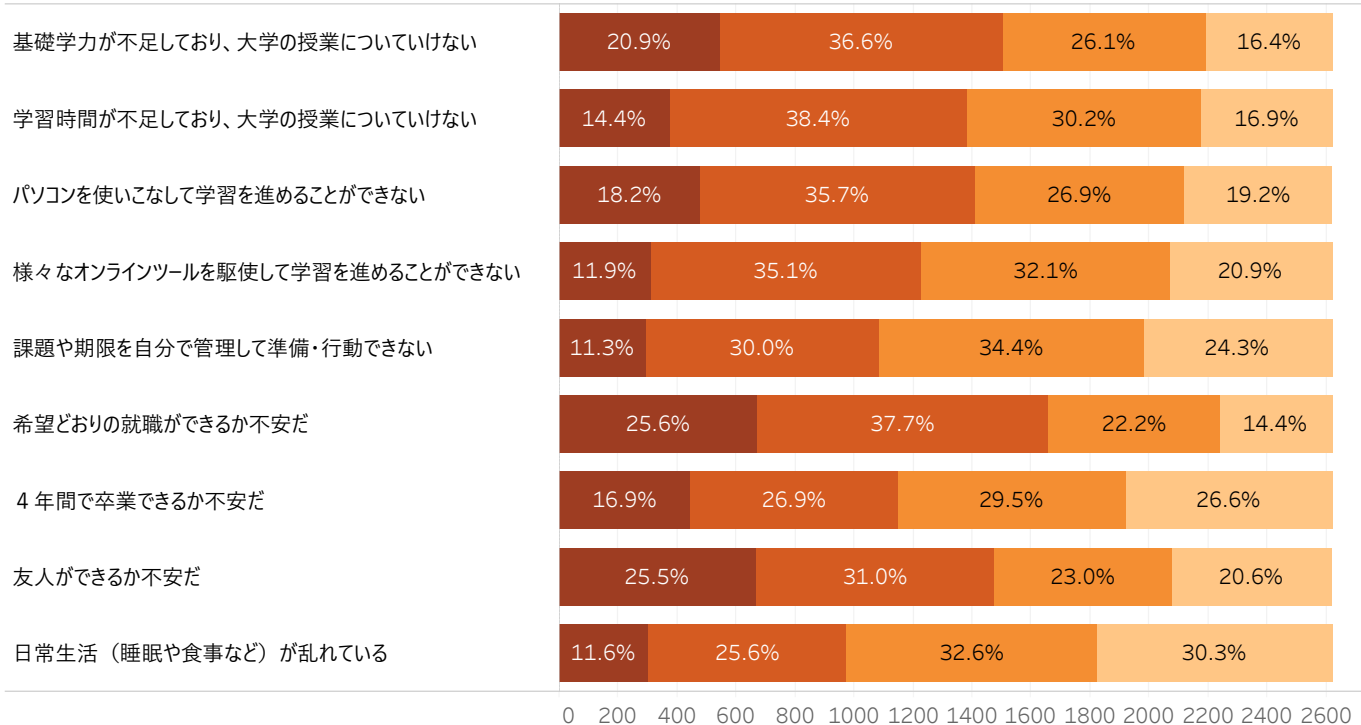
■ 9 時間以上 ■ 6 時間以上 7 時間未満 ■ 4 時間以上 5 時間未満
 ■ 8 時間以上 9 時間未満 ■ 5 時間以上 6 時間未満
 ■ 7 時間以上 8 時間未満 ■ 4 時間未満

●睡眠時間は、「6 時間以上 7 時間未満（38.8%）」の割合が最も高い。

問13.大学生活

これからの大学生活で、次のような不安や心配はどの程度あてはまるとお考えですか。

属性



問13

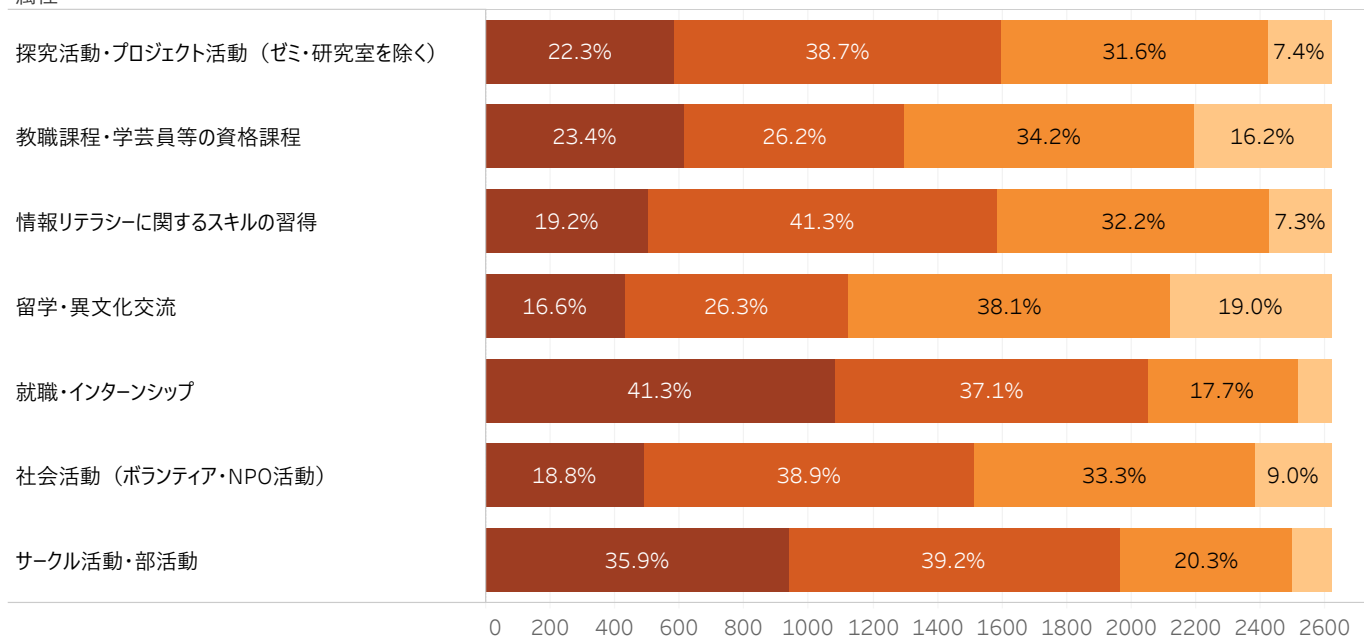
■ 4:当てはまる ■ 2:どちらかというと当てはまらない
 ■ 3:どちらかというと当てはまる ■ 1:当てはまらない

●「希望どおりの就職ができるか不安だ」に「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」割合は63.3%と最も割合が高い。

問14.取り組み

あなたは以下の事柄について、これからの大学生活の中でどの程度力を入れて取り組みたいと思っていますか。

属性



問14

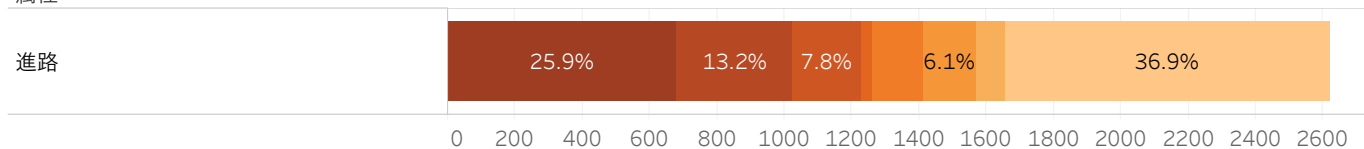
- 4:特に力を入れて取り組みたい
- 3:取り組みたい
- 2:機会があれば取り組むかもしれない
- 1:関心がない

●「就職・インターンシップ（41.3%）」、「サークル活動・部活動（35.9%）」の順に「特に力を入れて取り組みたい」割合が高い。

問15.進路

卒業後の希望進路について、考えているものを次のうちから選んでください。

属性



問15

- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 自営業（家業を継ぐ）
- 起業（将来的なものを含む）
- その他の職業
- 進学（大学院等）
- 未定

●「未定(36.9%)」の割合が最も高い。

2024年度 成長の証アンケート（大学） 集計結果

【調査の概要】

大学生生活全般の取り組みと現時点で身についた能力を把握し、本学の教育改善に役立てることを目的に実施

1.実施時期：2024年11月11日（月）～2024年12月25日（水）

2.対象学生：全学部学生

3.実施方法：W e b

4.対象者数：9,998人

5.回答者数：5,028人（回答率50.29%）

6.有効回答数：4,423人（有効回答率：44.24%）

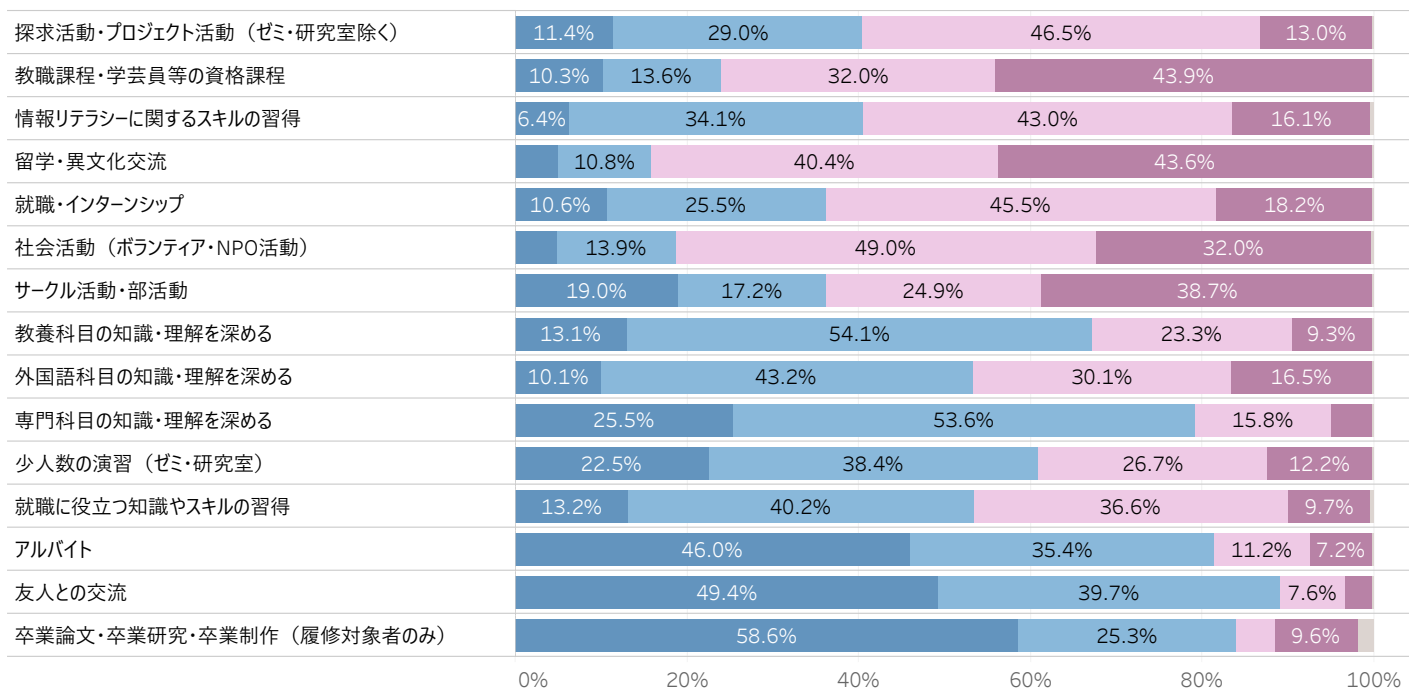
※回答者数の内、回答時間が3分未満のものは除外

【回答者数内訳】

学年	学生数	回答者数	回答率	有効回答フラグ	有効回答率
1	2,607	1,891	72.54%	1,636	62.75%
2	2,595	1,494	57.57%	1,342	51.71%
3	2,363	1,037	43.88%	924	39.10%
4	2,433	606	24.91%	521	21.41%
総計	9,998	5,028	50.29%	4,423	44.24%

1. 取り組み

あなたは現在、以下の事柄について大学生活の中でどの程度力を入れて取り組んでいますか。



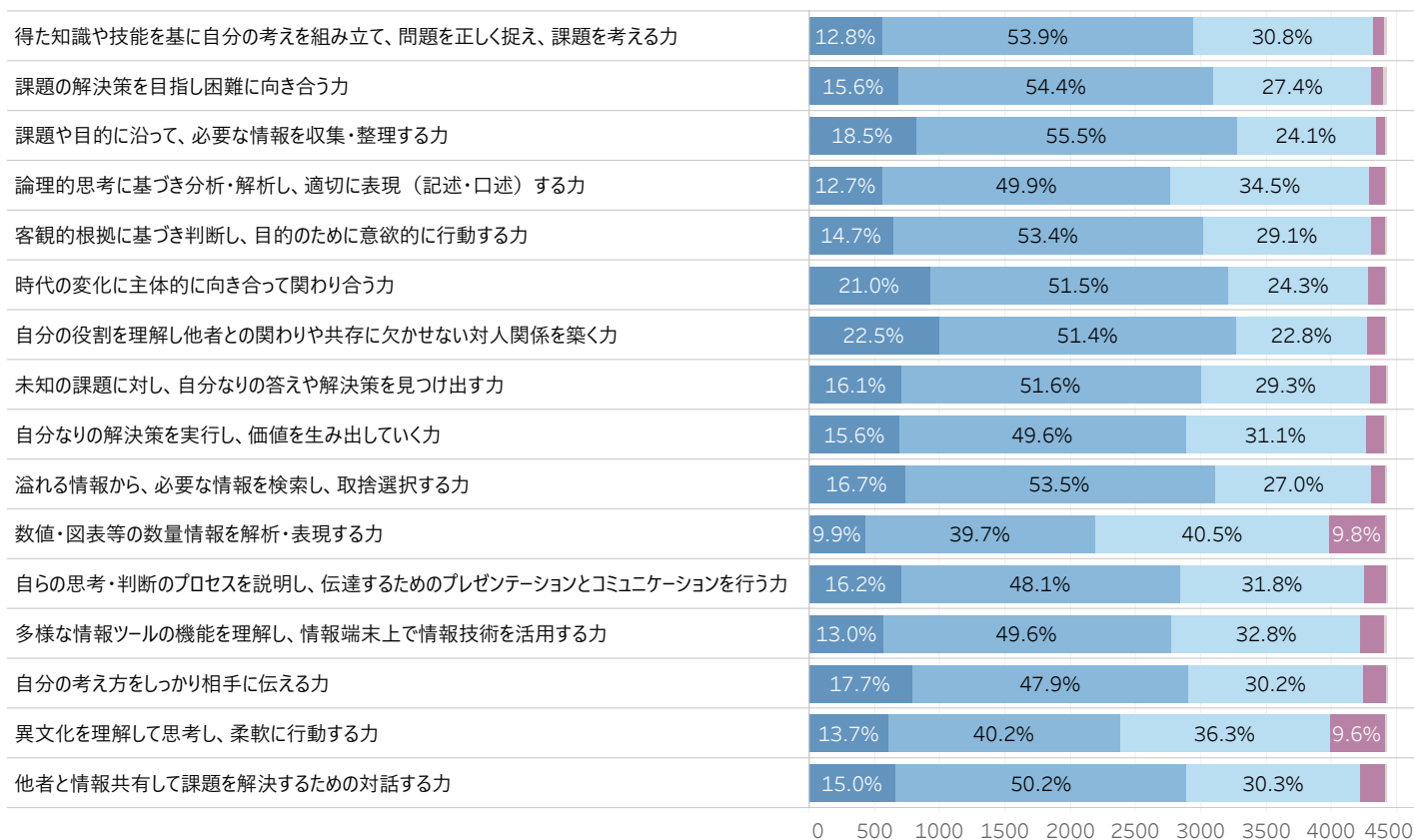
1. 取り組み

■ 4:特に力を入れて取り組んでいる ■ 2:機会がなく取り組んでいない ■ 未回答
■ 3:取り組んでいる ■ 1:関心がない

●「卒業論文・卒業研究・卒業制作（58.6%）※履修対象者のみ」、「友人との交流（49.4%）」の順で「特に力を入れて取り組んでいる」割合が高い。

2. コンピテンシー

あなたは九産大生コンピテンシーについて、大学生活を通じてどの程度身についたと思いますか。あてはまるものを1つお選びください。



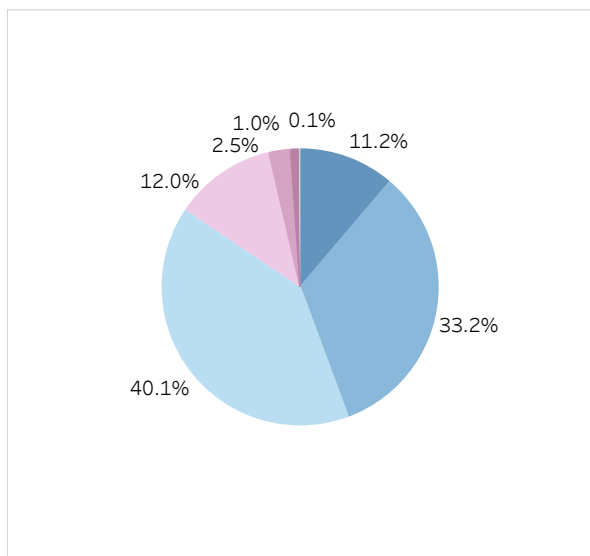
2. コンピテンシー

■ 4:とても身についた ■ 2:少し身についた ■ 未回答
■ 3:身についた ■ 1:身につかなかった

●「課題や目的に沿って、必要な情報を収集・整理する力（74%）」「自分の役割を理解し他者との関わりや共存に欠かせない対人関係を築く力（73.9%）」の順に「とても身についた」、「身についた」割合が高い。

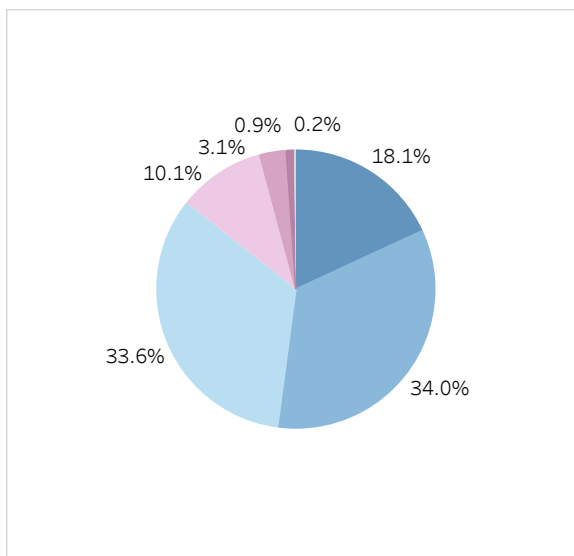
3. 学業充実度

学生生活の学業面全体の充実度について、次の選択肢から最もあてはまるものを1つお選びください。



4. 学生生活充実度

学業以外の学生生活全体の充実度について、次の選択肢から最もあてはまるものを1つお選びください。



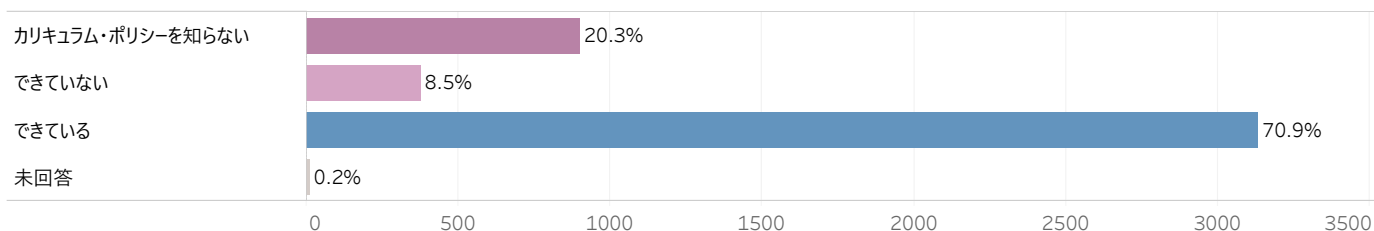
34 充実度

- 6: とても充実している
- 5: 充実している
- 4: どちらかといえば充実している
- 3: どちらかといえば充実していない
- 2: 充実していない
- 1: 全く充実していない
- 未回答

- 学業充実度は「とても充実している」「充実している」「どちらかといえば充実している」の割合は84.5%であった。
- 学生生活充実度は「とても充実している」「充実している」「どちらかといえば充実している」の割合は85.7%であった。

5. カリキュラム・ポリシー

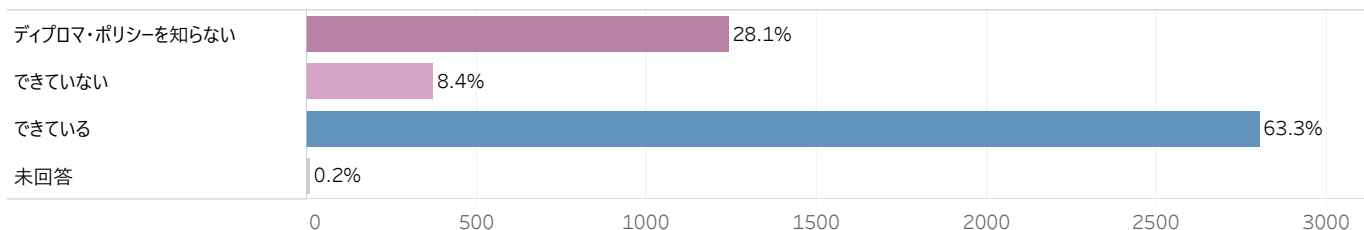
所属学部・学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って成長できていると思いますか。



- 「できている」割合は70.9%であった。

6. ディプロマ・ポリシー

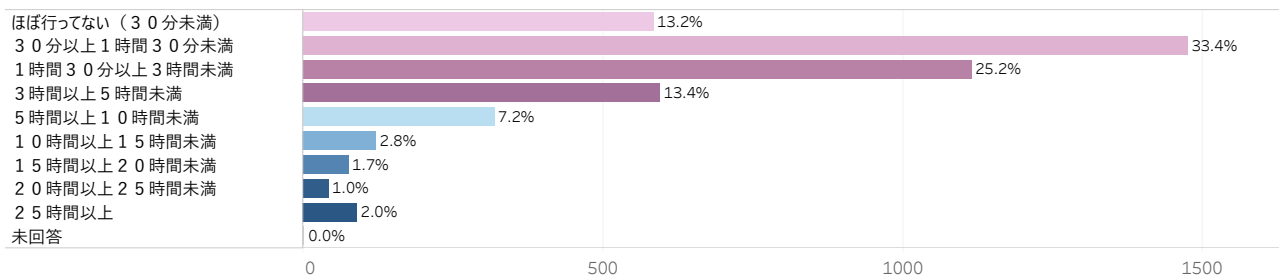
所属学部・学科のディプロマ・ポリシー（学位の授与方針）に沿って成長できていると思いますか。



- 「できている」割合は63.3%であった。

7. 週あたりの学習時間

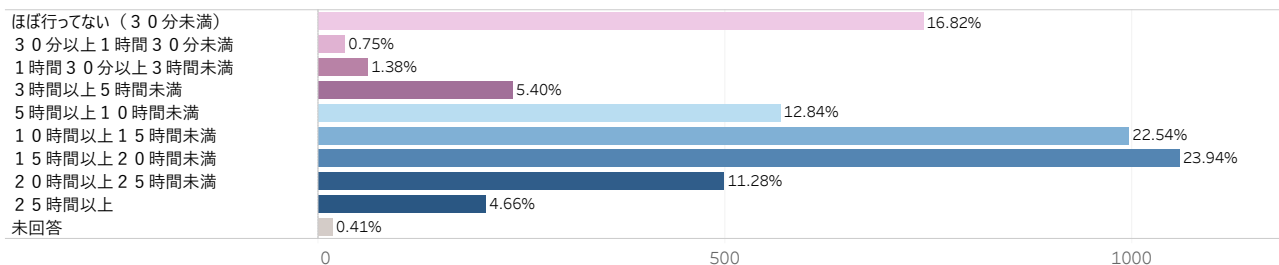
今学期、授業以外での学習時間（予習・復習、資格試験対策、制作、卒業制作等）は、1週間あたりでどれくらい行っていますか。最もあてはまるものをお選びください。



●「30分以上1時間30分未満（33.4%）」、「1時間30分以上3時間未満（25.2%）」の順に割合が高い。

8. 週あたりのアルバイト時間

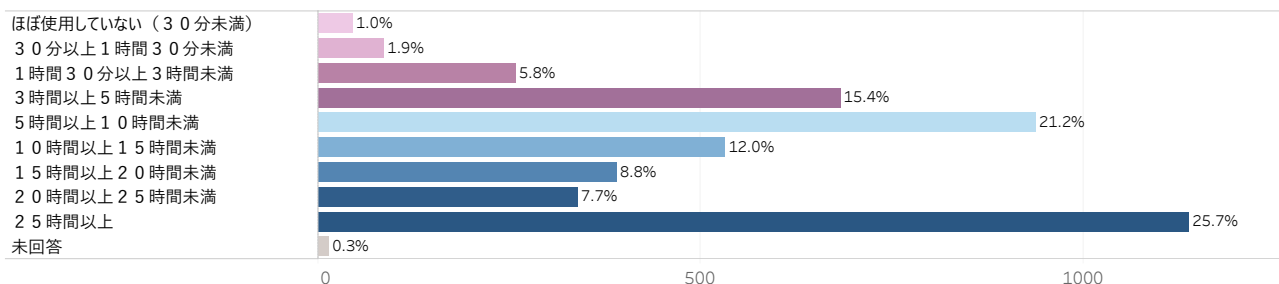
今学期、アルバイト時間は、1週間あたりでどれくらい行っていましたか。最もあてはまるものをお選びください。



●「15時間以上20時間未満（23.94%）」、「10時間以上15時間未満（22.54%）」の順に割合が高い。

9. デジタル端末使用時間

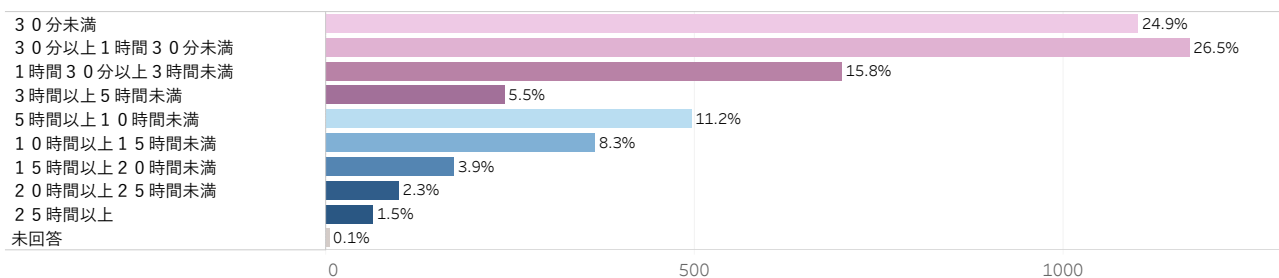
今学期、勉強以外でスマホ、PC、ゲーム機などを1週間あたりでどの程度使用していますか。



●「25時間以上（25.7%）」、「5時間以上10時間未満（21.2%）」の順に割合が高い。

10. 通学時間

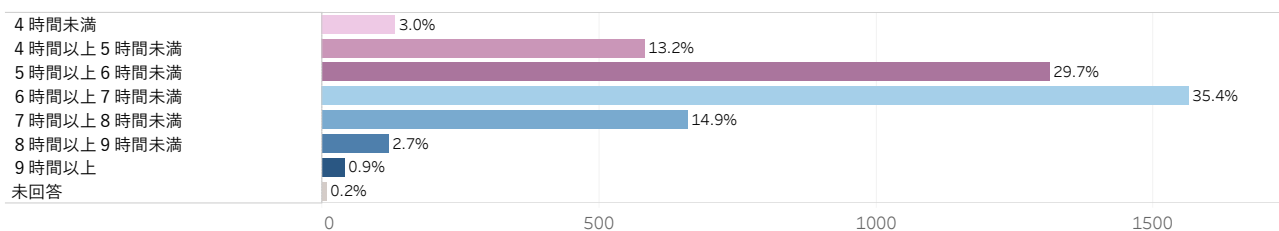
今学期、あなたの1週間あたりの通学時間（往復×週に大学に来る日数）はどれくらいですか。



●「30分以上1時間30分未満（26.5%）」、「30分未満（24.9%）」の順に割合が高い。

11. 睡眠時間

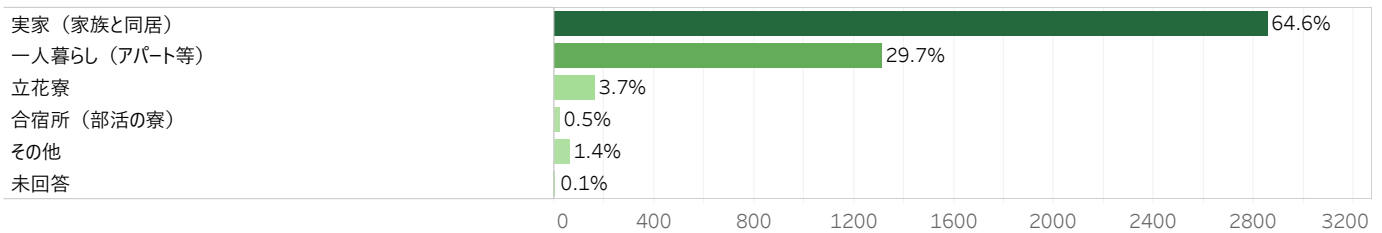
今学期のあなたの夜の平均睡眠時間はどれくらいでしたか。



●「6時間以上7時間未満（35.4%）」、「5時間以上6時間未満（29.7%）」の順に割合が高い。

12.住居

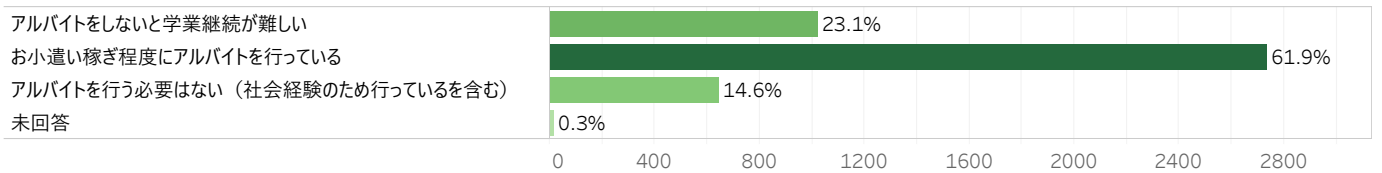
現在の住居について教えてください。



●「実家（家族と同居）（64.6%）」、「一人暮らし（29.7%）」の順で割合が高い。

13.経済状況

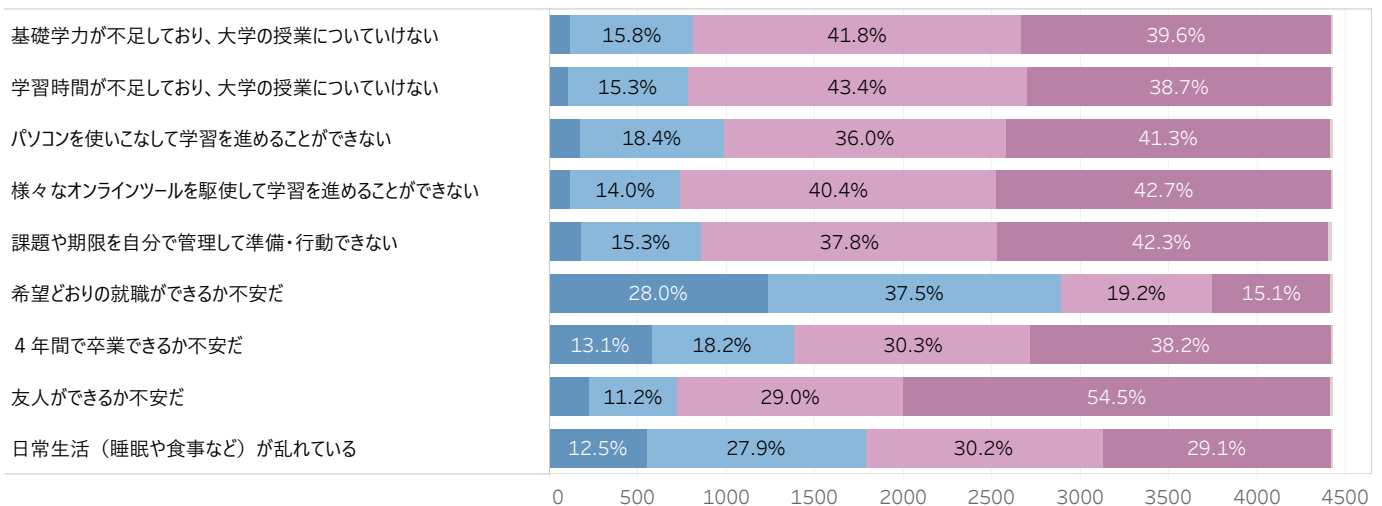
現在の経済状況について教えてください。



●「アルバイトをしないと学業継続が難しい」割合は23.1%である。

14.学生生活

現在の大学生活について、次のようなことはどの程度あてはまりますか。



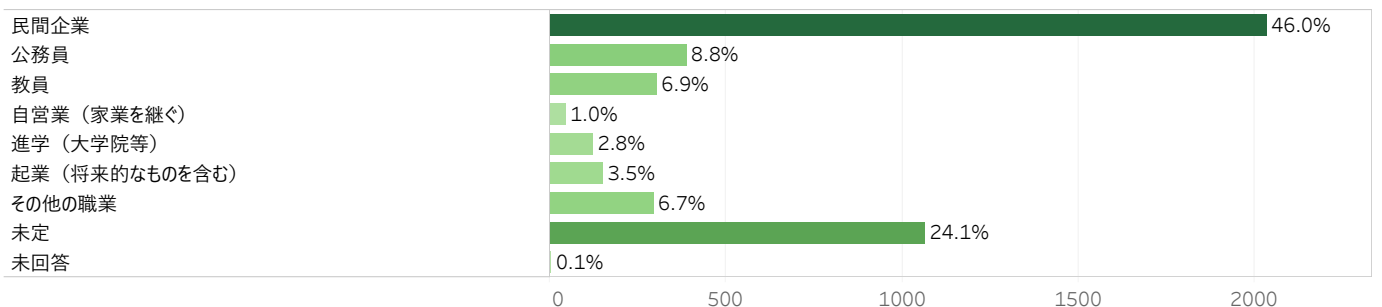
14.大学生活

■ 4:当てはまる ■ 2:どちらかというと当てはまらない ■ 未回答
■ 3:どちらかというと当てはまる ■ 1:当てはまらない

●「希望どおりの就職ができるか不安だ」に「とても当てはまる」、「当てはまる」、「どちらかというと当てはまる」割合は65.5%と最も高い。

15.進路

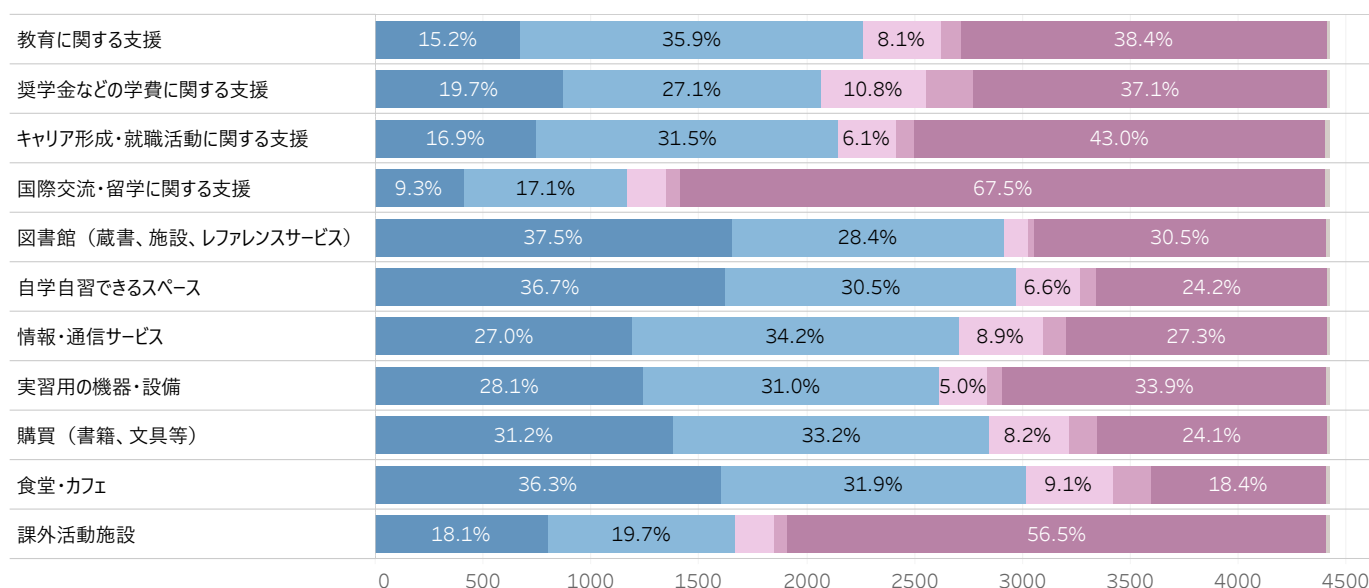
卒業後の希望進路について、考えているものを次のうちから選んでください。



●「民間企業（46.0%）」の割合が最も高い。

16.大学の各種サービス

あなたは以下の大学の各種サービスについて満足していますか。



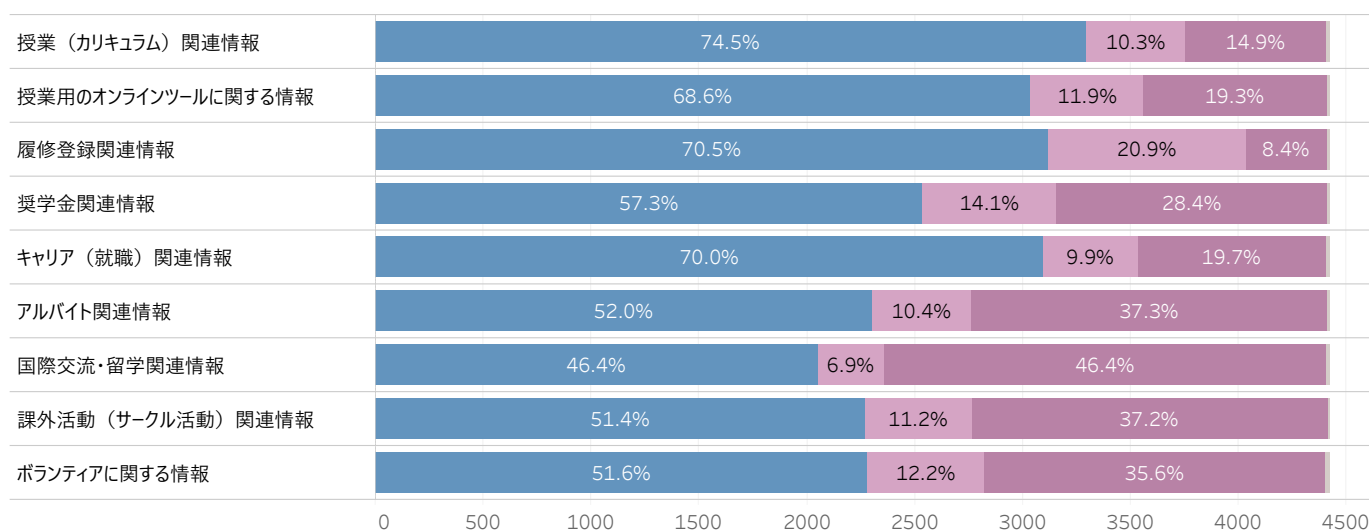
16.大学の各種サービス

■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ あまり利用していない ■ 未回答

●「図書館（37.5%）」、「自学自習スペース（36.7%）」の順に「満足」の割合が高い。

17.大学からの情報提供

以下の点について、大学からの情報提供は十分だと思いますか。



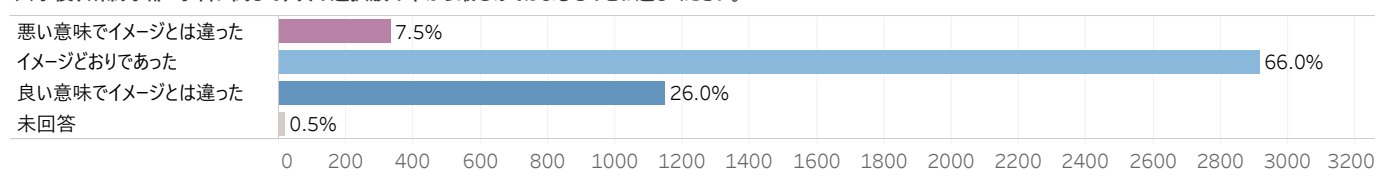
17.大学からの情報提供

■ 十分 ■ 不十分 ■ 関心がない ■ 未回答

●「授業・カリキュラム関連情報（74.5%）」、「履修登録関連情報（70.5%）」の順で「十分」の割合が高い。

18.学部・学科のイメージ

入学後、所属学部・学科に関して、次の選択肢の中から最もあてはまるものをお選びください。



●「イメージどおりであった（66.0%）」、「良い意味でイメージと違った（26.0%）」の順に割合が高い。

2023年度 卒業予定者アンケート結果（大学）

【調査の概要】

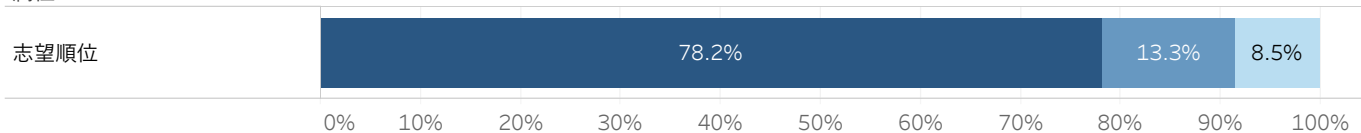
大学生生活全般で身についた能力や本学への満足度などを調査

- 1.実施時期：2024（令和6）年2月9日～3月15日
- 2.対象学年：2024年3月に卒業を予定する学生
- 3.実施方法：Web
- 4.対象者数：大学2,556人
- 5.回答者数：大学1,527人（回答率：59.7%）

問1.志望順位

本学に入学した時、現在所属している学科（専攻等）の志望順位についてあてはまるもの1つをお選びください。

属性



問1

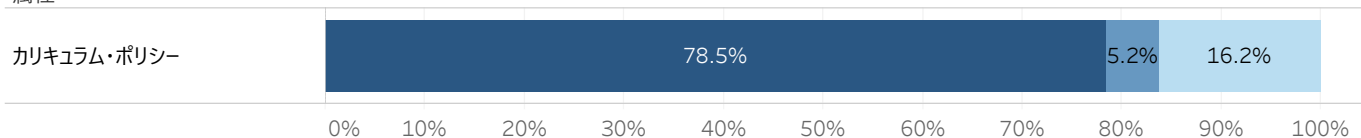
- 第三志望以下
- 第二志望
- 第一志望

●「第一志望（78.2%）」の割合が最も高い。

問2.カリキュラム・ポリシー

所属学部・学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）通りに成長できたと思いますか。

属性



問2

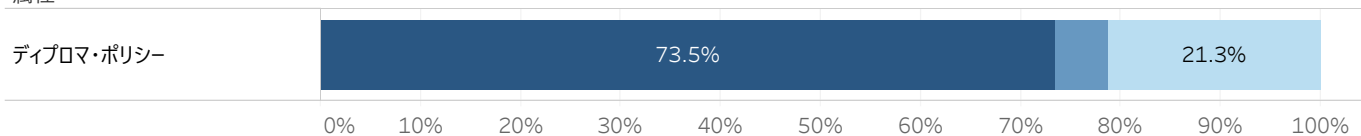
- カリキュラム・ポリシーを知らない
- できていない
- できた

●「できた（78.5%）」の割合が最も高い。

問3.ディプロマ・ポリシー

所属学部・学科のディプロマ・ポリシー（学位の授与方針）通りに成長できたと思いますか。

属性



問3

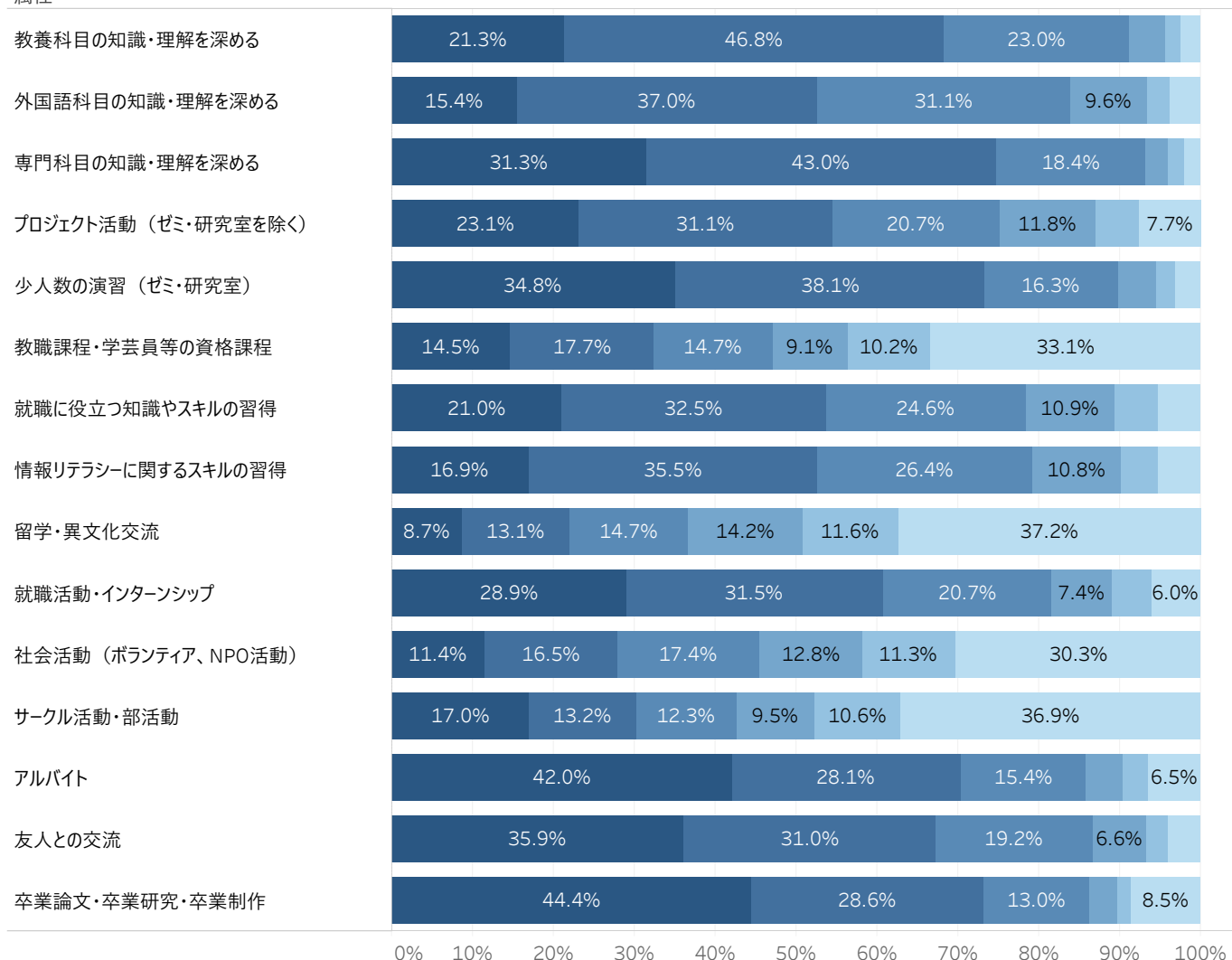
- ディプロマ・ポリシーを知らない
- できていない
- できた

●「できた（73.5%）」の割合が最も高い。

問4.取り組み

あなたは以下の事柄について、大学生活の中でどの程度力を入れて取り組みましたか。

属性



問4

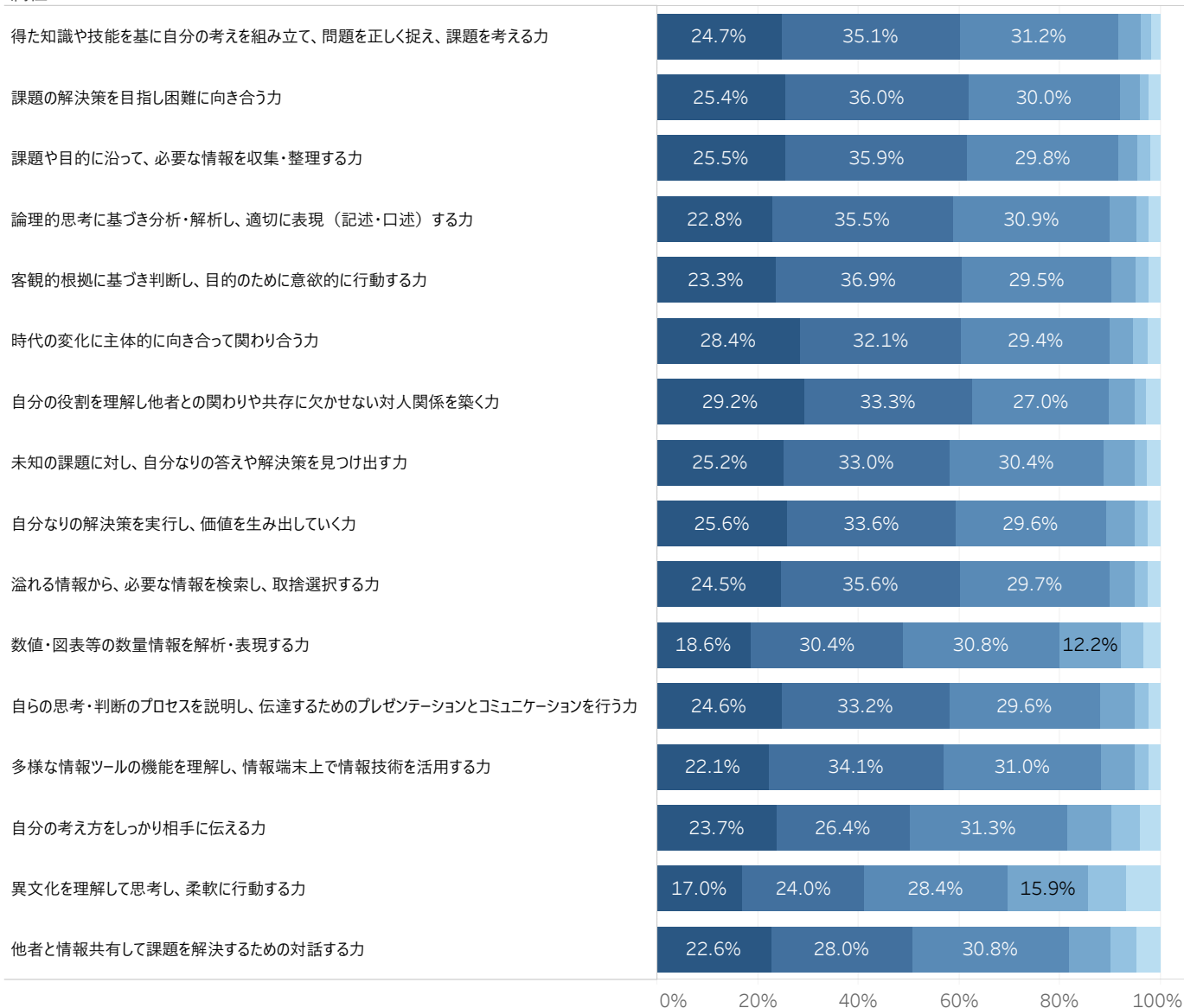
- 全く取り組んでいない
- 取り組んでいない
- あまり取り組んでいない
- 少し取り組んだ
- 取り組んだ
- 非常に熱心に取り組んだ

●「卒業論文・卒業研究・卒業制作（44.4%）」、「アルバイト（42%）」「友人との交流（35.9%）」の順に「非常に熱心に取り組んだ」割合が高い。

問5.コンピテンシー

大学生生活全般を通して、以下の能力はどの程度身についたと思いますか。

属性



問5

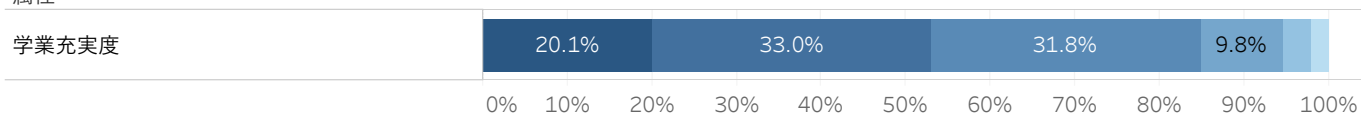
- 全く身につかなかった
- 身につかなかった
- あまり身につかなかった
- やや身についた
- 身についた
- かなり身についた

●「自分の役割を理解し他者との関わりや共存に欠かせない対人関係を築く力（29.2%）」、「時代の変化に主体的に向き合って関わりあう力(28.4%)」の順に「かなり身についた」と思う割合が高い。

問6.学業充実度

学生生活の学業面全体の充実度について、次の選択肢の中から最もあてはまるものを1つお選びください。

属性



問6

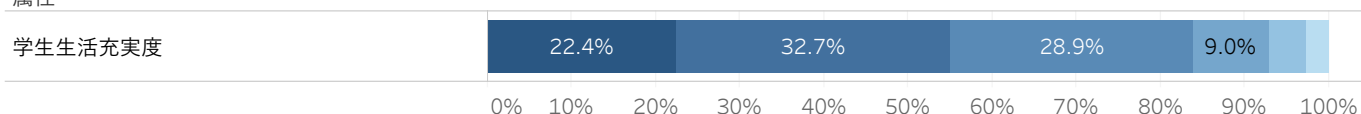
- とても充実していた
- 充実していた
- どちらかといえば充実していた
- どちらかといえば充実していなかった
- 充実していなかった
- 全く充実していなかった

●学業が「とても充実していた」、「充実していた」、「どちらかといえば充実していた」割合は84.9%であった。

問7.学生生活充実度

学業以外の学生生活全体の充実度について、次の選択肢の中から最もあてはまるものを1つお選びください。

属性



問7

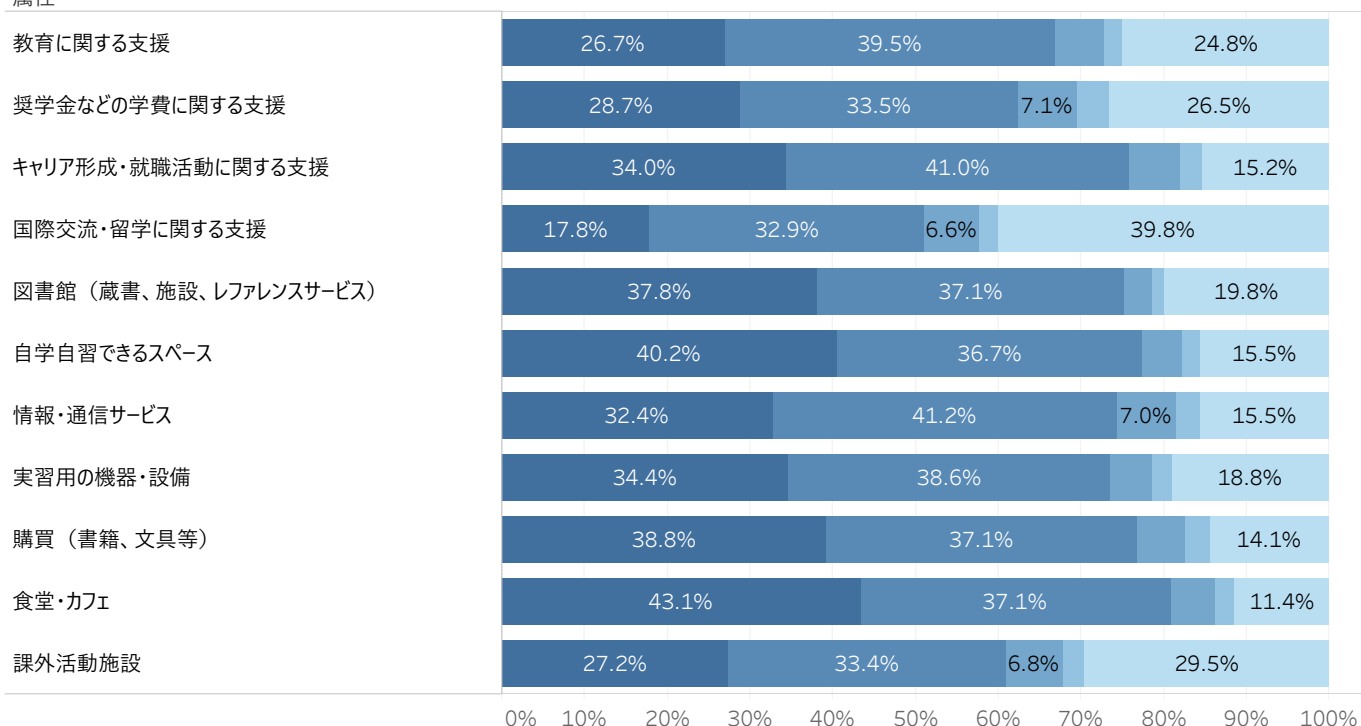
- とても充実していた
- 充実していた
- どちらかといえば充実していた
- どちらかといえば充実していなかった
- 充実していなかった
- 全く充実していなかった

●学生生活が「とても充実していた」、「充実していた」、「どちらかといえば充実していた」割合は84%であった。

問8.大学の各種サービス

あなたは以下の大学の各種サービスについて満足していますか。

属性



問8

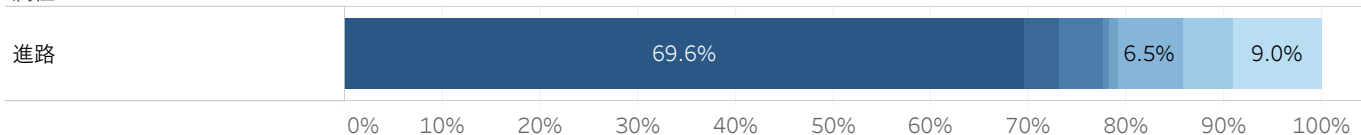
- 満足
- やや不満
- あまり利用していない
- やや満足
- 不満

●「食堂・カフェ(43.1%)」、「自学自習スペース（40.2%）」、「購買（38.8%）」の順に「満足」の割合が高い。

問9.進路

進路について、現在の状況を教えてください

属性



問9

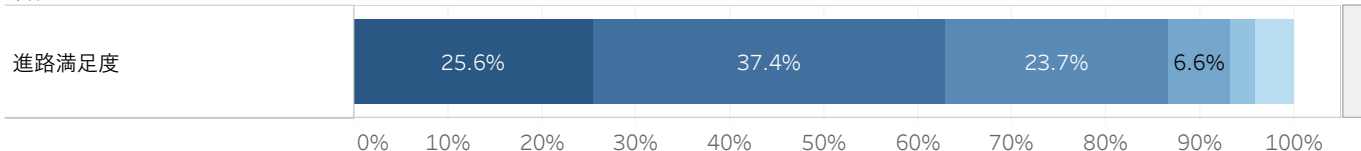
- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 自営業（家業を継ぐ）
- 起業
- その他の職業
- 進学（大学院等）
- 未定

●「民間企業（69.6%）」の割合が最も高い。

問10.進路満足度

進路について、その結果（就職先等）に満足していますか。

属性



問10

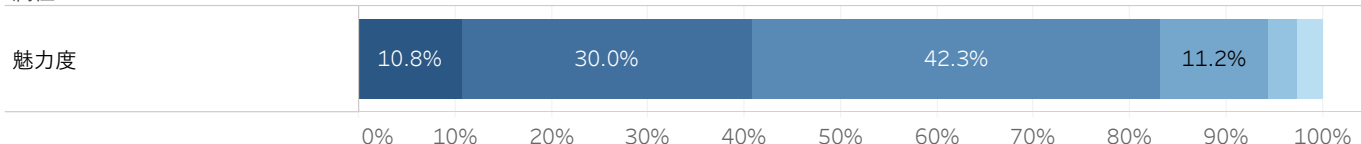
- とても満足
- 満足
- やや満足
- やや不満
- 不満
- とても不満

●「とても満足」、「満足」、「やや満足」の割合は86.7%である。

問11.魅力度

もし、身近に大学進学を考えている人がいたら本学への進学を勧めますか。

属性



問11

- 強く勧める
- 勧める
- どちらかというと勧める
- どちらかというと勧めない
- 勧めない
- 強く勧めない

●本学への進学を「強く勧める」、「勧める」、「どちらかというと勧める」の割合は83.1%である。

04 | ファクトブックについて

1. 目的

本学では、2024 年に大学運営における現状把握、課題発見、および将来計画策定のための基盤データを提供することを目的にファクトブックを公開しました。IR(Institutional Research)活動の一環として、大学の現状を教職員が共有・認識し、データに基づいた意思決定を行うことを支援します。

2. 掲載内容

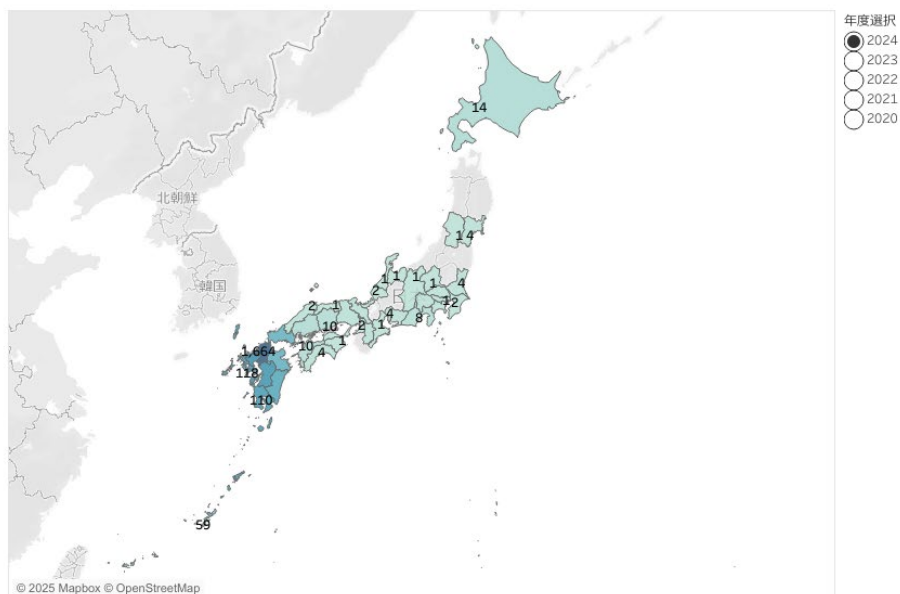
大学、大学院、短期大学部、教職員に関する計 21 指標のデータが、動的なグラフ形式で可視化されています。主な指標は以下のとおりです。

- **学部：** 学生数、収容定員充足率、入学志願者数・競争率、入学者数・入学定員充足率、入試別入学者数、出身校所在地別入学者数、卒業者数、学部別就職決定率、進路別卒業者数、最低在学年限超過学生数、中途退学者数、留学生数、留学生数（国別）
- **大学院：** 学生数、収容定員充足率、修了者数
- **短期大学部：** 学生数、収容定員充足率、入学者数・入学定員充足率、入試別入学者数、出身校所在地別入学者数、卒業者数、就職決定率、進路別卒業者数、中途退学者数、留学生数
- **教職員数：** 教員数（大学/短大）、事務職員数

画面イメージ | 学生数



画面イメージ | 出身校所在地別入学者数



3. 特長

- **動的グラフ:** マウス操作により、詳細データや経年変化を確認できます。
- **多様なデータ形式:** PDF や PowerPoint 形式でのダウンロードが可能です。
- **アクセス性:** パソコン、スマートフォン、タブレットから学内外を問わずアクセス可能です。

4. 活用例

- 教育・研究方針の検討
- 入試・広報戦略の立案
- 学生支援の強化
- カリキュラム設計
- 大学運営の改善

5. 今後の展望

ファクトブックは、大学関係者にとって重要な情報源となります。今後、掲載データの拡充や分析機能の強化を通じて、より効果的な大学運営に貢献していく予定です。また、関係者間で情報を共有し、現状把握と課題解決に役立てていくことが期待されます。

ファクトブック URL <https://www.kyusan-u.ac.jp/guide/efforts/ir/factbook/>



05 | 総括・今後の展望について

1. 総括

九州産業大学では、データに基づいた大学運営と意思決定を支援するため、2021年8月にIR推進室を設置し、IR活動を本格的に開始しました。2024年には大学評価室と統合し、新たに教育企画推進室を設け、教育の質保証に向けた取り組みを推進しています。IR体制の整備が進む中で、各種調査の実施を通じて、学生の学びの実態を把握し、関係部所と共有することで、教育改善につなげる仕組みが構築されてきました。これまでの活動の主な成果と課題は、次のとおりです。

(1) 成果

- ・ IR体制の整備と組織的な活動の推進
- ・ データに基づいた現状把握と課題の可視化
- ・ 学生の学びの実態把握を通じた教育改善の取り組みの促進
- ・ 大学の透明性向上とステークホルダーへの情報公開

(2) 課題

- ・ 学生調査の分析結果を教育改善に繋げるため、更なるPDCAサイクルの確立
- ・ IR活動に関わる教職員のスキルアップと専門性向上

2. 今後の展望

次年度以降、データに基づく大学運営をさらに推進するため、以下の方向性でIR活動に取り組んでいきます。

(1) データに基づいた教育の質の保証

学修者本位の教育への転換に向けて、学生調査や教育データの分析を深め、学修成果を可視化し、教育内容・方法の改善を図る。

(2) 学内におけるIR活動の啓蒙

IR活動の成果やデータ分析結果を積極的に発信し、教職員のIRに対する理解を深め、データに基づいた大学運営への意識を高める。

(3) 人材育成の強化

IR活動を推進するための職員のスキルアップと専門性向上を図る。

最後に、IR活動は教育の質の向上に不可欠な取り組みです。今後も、データに基づいた客観的な視点から、大学の現状を分析し、課題解決に向けた支援を行うことで、本学の持続的な成長を目指してまいります。

大学改革推進本部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、事務組織及び事務分掌に関する規程（以下「組織規程」という。）第2条に定める大学改革推進本部（以下「推進本部」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 推進本部は、高等教育を取り巻く変化及び社会情勢等を踏まえ、迅速かつ適切に対応するため、教育データに基づく教育改革のPDCAサイクルを確立させ、九州産業大学及び九州産業大学造形短期大学の教育改革を推進することを目的とする。

(推進本部の組織)

第3条 推進本部の組織は、組織規程による。

(業務)

第4条 推進本部は、組織規程第3条に基づき、次の業務を行う。

(1) 教育企画推進室

- ア 教育全般に係る企画・立案に関すること
- イ 学修成果の可視化の研究・開発に関すること
- ウ 教育に関する諸課題（教育の内部質保証、入学前教育、PBL、キャリア教育、社会人教育等）に係る調査・分析及び解決に関すること
- エ 教育及びその成果に関する調査・収集・分析したFD情報の効果的活用策の検討に関すること
- オ 教職員の能力開発のためのFD・SD研修プログラムの開発と実現に関すること
- カ 教育力向上プログラム・FD推進プログラム等に関する情報収集と教職員への提供に関すること
- キ アセスメントプランに関すること
- ク 教育に関する中期目標・計画及び年度計画の策定に関すること
- ケ リカレント・リスキリング教育の推進に関すること
- コ その他教育力向上に関すること

(2) 大学評価・IR室

ア 大学評価

- (ア) 全学的な自己点検・評価の実施体制の構築と推進に関すること
- (イ) 認証評価・テーマ別評価等の第三者評価を含む外部評価への対応に関すること
- (ウ) 自己点検・評価結果の各部所等への還元と支援に関すること
- (エ) その他大学評価や大学マネジメントに関する情報の収集に関すること

イ IR

- (ア) 大学の教育・研究に係る効率的かつ効果的な計画立案、戦略策定、評価及び意思決定の支援に関すること
- (イ) 大学における教育・研究に関する学内外の諸情報の収集、統合、分析に関すること
- (ウ) ステークホルダーへの情報発信に関すること
- (エ) その他教育・研究活動の活性化に関する事業の企画・推進に関すること

(本部長及び副本部長の職務)

第5条 組織規程第6条第10項に定める本部長及び副本部長の職務は、次のとおりとする。

- (1) 本部長は、推進本部の業務を統括し、その管理運営にあたる。
- (2) 副本部長は、本部長を補佐する。

(専属教員等)

第6条 本部長は、必要に応じて推進本部に専属教員又は兼務教員として各学部等から選出された教育職員を置くことができる。

(意見聴取)

第7条 本部長は、第4条に掲げる業務を円滑に遂行するため、必要に応じて九州産業大学学部長会議、九州産業大学大学院研究科長会議又は九州産業大学造形短期大学部教授会において、意見を聴くことができる。

(産学共創・研究推進本部等との連携)

第8条 推進本部は、大学全体の教育・研究及び産学連携に関する諸活動を推進するため、産学共創・研究推進本部との連携を図るものとする。

2 前項に関わらず、大学全体の諸活動に関する連動性を確保するため、必要に応じて他部所との連携を図るものとする。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

(事務)

第10条 推進本部に関する事務は、教育企画推進室及び大学評価・IR室が行う。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、理事小委員会の議決によるものとする。

附 則

この規程は、平成18年7月28日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。